

2015年4月7日開催 第597回番組審議会

## ■ 出席委員

櫻井美幸委員長、佐藤友美子副委員長、神谷徹委員、小菅洋人委員、  
佐藤卓己委員、津村記久子委員、東野博昭委員、細見良行委員

## ■ 毎日放送出席者

河内社長、松島専務、榎本専務、梅本常務、豊田取締役、  
赤阪コンプライアンス室長兼番組審議会事務局長、  
虫明ラジオ局長、西村編成局長

## ◆ 審議事項

### 1. 新任委員の紹介と委員長・副委員長の選出

新年度から津村記久子氏、細見良行氏が委員に就任した。委員総数は10名。  
また、新しく委員長、副委員長に櫻井美幸委員、佐藤友美子委員がそれぞれ選出された。

### 2. 報告事項

- ①ラジオ・テレビの4月改編の概要と特徴について、ラジオ局長と編成局長がそれぞれ報告した。
- ②「放送番組の種別の公表」制度に則って、平成26年度下期6か月分の番組種別ごとの放送時間を編成局長が報告した。合わせて同期間のCM総量及び4月以降の基本番組表についても報告した。
- ③テレビ・ラジオのネットをつかった見逃し、聞き逃し配信の現状について報告した。

## ◆ 審議概要

### ① ラジオ・テレビの4月改編について

ラジオの今回の改編は45.6%で、大幅改編となった昨年よりもさらに大きな改編となった。主な理由は、ナイター編成と午前の「上泉雄一のええなあ！」と夜の「松井愛のすこ〜し愛して♡」の帯番組の入れ替えに伴う改編。また、深夜に音楽番組「Till Dawn Music」を編成した。自社制作率は96.9%。

テレビの改編は、昨年、朝5時半から、夕方までを生放送でつなぐ編成を実施し、好結果を得た。今回は、ネット番組を中心に強化する編成となった。日曜22時枠の新番組と土曜朝8時枠が新番組となった。改編率は、総放送時間の21.7%、ゴールデン帯17.4%、プライム帯は22.7%。

系列では、昨年に引き続き“家族で楽しめる”を番組づくりのコンセプトに据えた。

## ②「放送番組の種別」の報告について

報道番組は、10月から3月まで、合計1万3,268分で前期より52分増加。教育番組は8,332分で、前期より840分増加。教養番組は1万4,934分、これは前期より193分減少。娯楽番組は1万9,437分で、前期より879分減少。通販番組は3,307分で、130分減少している。

CM放送実績では、総放送時間に対する割合は17.5%。前年下期は17.7%。

## ③見逃し・聞き逃し番組配信について

インターネットを使ったテレビ番組の無料見逃し配信のトライアルが3月30日からスタートした。自局独自で取り組むのは在阪では始めて。ライブ視聴の動機付けや違法動画配信の駆逐、新しいビジネスモデルの模索などが主な目的。3か月のトライアルの結果を検証して、将来につなげることにしている。

ラジオではすでにいくつかの番組をユーチューブ、ポッドキャストを使って配信している。今後は、ラジオ各局が参加しているラジコでのタイムシフト聴取を検討中。

## 【各委員の主な意見は次の通り】

### ラジオ編成について

- \* 昼の時間帯に女性のパーソナリティーがいなかったのが、松井さんがこの時間帯に来ることに期待している。

### ラジオ新番組「Till Dawn Music」について

- \* 担当者の顔を出したほうがいい。この人の曲やったらこうと補足する情報があれば、それでファンになったりして、別にタレントじゃなくてもいいと思う。ぜひホームページかどこかで出したらおもしろいんじゃないか。

### テレビ新番組「サタデープラス」

- \* 「サタデープラス」は、様変わりで、全国を意識されているが、関西色が薄まった。

以上